

甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 令和2年3月26日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（8名）

委員長	五味武彦君	副委員長	伊藤毅君
	秋山照雄君		金丸幸司君
	松井豊君		有泉庸一郎君
	内藤久歳君		藤原正夫君

議長 清水正二君

欠席委員（1名）

金丸寛君

傍聴議員（1名）

斉藤芳夫君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 本田泰司 書記 輿石文明

議題

- 1 「市民と議会の対話集会」実施報告書（案）について
- 2 その他

開会 午前10時00分

○書記（輿石文明君） 改めまして、おはようございます。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、五味委員長、お願いいたします。

○委員長（五味武彦君） おはようございます。

いよいよ最後の実施報告書作成というところまで来ました。よろしくお願ひしたいと思ひます。月末までに全て完了したいということで、当初から輿石係長も急いだ急いだこの結果、やっぱり何とか間に合わせるような格好を取っております。よろしくお願ひいたします。

以上です。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、清水議長、お願いいたします。

○議長（清水正二君） 改めまして、おはようございます。

第1回定例会の会期中にも議会改革特別委員会ということでご参集をいただき、いろいろご審議をいただいたわけですが、そんな形の中で、実施報告書という形で今日いよいよ詰めという形になりますけれども、ぜひとも内容の濃いものでありますようお願いいたします。まして、挨拶にいたします。よろしくお願ひします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては、五味委員長、よろしくお願ひいたします。

○委員長（五味武彦君） それでは、始めさせていただきます。

ただいまの出席委員は6名になっております。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

なお、金丸寛委員は欠席の連絡、さらに、松井委員と藤原委員については遅刻の連絡がありましたので、報告をさせていただきます。

本日の会議を開きます。

内容に入りたいと思ひます。

内容の（１）「市民と議会の対話集会」実施報告書（案）についてを議題とさせていただきます。

正副委員長及び事務局等々で案を作成をいたしました。若干内容を説明させていただいて、その後休憩を取ります。それで、各自確認をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

まず、１ページをお開きいただきたいと思います。

１ページについては、「市民と議会の対話集会」意見交換会の概要という形になります。１の主催、それから日時、場所、内容、意見交換会、それから参加者等々、ここまでは今までどおりの日程等々が表記してございますので、間違いはないというふうに思います。

それから、７の今後の対応のところに入りたいと思いますが、各班の実施報告書に基づき議会及び委員会等で対応を要するものは、今後、調査研究を行い、その結果を公表する予定ですと表記をしております。

本日、報告書の案を決定いただきまして、来週の３０日の全員協議会で案の最終確認をさせていただきますたいと思います。その後、この報告書は策定完了という運びになろうかと思ひます。

３０日の全員協議会については、各班で実施報告書の最終確認をさせていただきますたいと思ひます。各班で実施報告書の最終確認をさせていただきますたいと思ひます。各班がまとめた、今後、委員会等で対応が必要な事項について全議員の意見を聴きまして決定すると。それから、各常任委員会、特別委員会等で今後課題の対応を行いまして、その対応結果を議会だより、それから議会ホームページで公表を行うこととしたいと思ひます。

もう一回言ひます。各班がまとめた、今後委員会等で対応が必要な事項について、全議員の意見を聴き、決定して各常任委員会、特別委員会等で今後課題の対応を行います。その対応結果を議会だより、議会ホームページで公表を行うこととしたいと思ひます。

それでは、各班の実施報告のほうを若干説明をさせていただきます。

２ページをお願いしたいと思ひます。

各班の報告内容は多少修正してございます。基本的には、そのまま掲載してありますが、多少修正は行ってあります。

赤字の部分は、検討を要さずに回答できるものを記載してあります。この分につきましては、２ページの今後、委員会等で対応が必要な事案のほうには、これは削除してございます。

〔「３ページ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 3 ページか、これは。

赤字の部分ございます。赤字の部分のものについては、3 ページの今後、委員会等で対応するのが必要な事案のほうには、これは削除してございます。その場で対応したというふうな判断をしております。

また、この報告書は議会ホームページで公開いたしますので、各班からの今回の反省点、それから次回の改善点については報告書に記載してございません。次回の対話集会の開催の際に、各班からの反省点、改善点を踏まえて計画したいと思います。今回については、反省点、次回の改善点については記載はございません。

資料の13ページになりますが、これはアンケートの結果ということで、これがまとめてございます。

簡単な説明になりますが、ここまででよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） それでは、今日お手元に配ったばかりですので、時間をちょっと取らせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

ここで暫時休憩をさせていただきますので、20分程度時間を取ってごゆっくりご覧いただきたいというふうに思います。

以上です。

休憩に入ります。

休憩 午前10時07分

再開 午前10時26分

○委員長（五味武彦君） それじゃ、ご覧いただいたようなので、会議を再開させていただきます。

内容の確認という形になります。修正点などございますれば、対応させていただきたいと思ひます。

まず1 ページ、ざざざっとご説明いたしましたけれども、概要についてはいかがですか。

先ほど事務局が申し上げたとおり、欠席の議員については名前は伏せてございます。

1 ページご意見ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） ないようですから、次にページへ行きたいと思います。

それでは、各班の意見・提言などということで、各班の要旨等々が載っております。全て前回はそのまま載せました。ですが、文言とか、それからまとめなきゃいけないもの等々を要約してあるというふうな形、文言についても若干手直しをしているというふうな形になります。

まず、1班の実施報告、もう既に対応中、対応済みというものが赤字で対応、表記してございます。したがって、それに対する意見・要望、委員会等で対応すべきものからカットしているというふうな状況になります。

2ページはたまたま有泉委員がいますけれども、何かあれば。

有泉委員、どうぞ。

○委員（有泉庸一郎君） リニアの問題、これは滝川議員がどういう質問したかあまり覚えていないんだけど、このことを要するに議会で、発言者の真意というか、なぜこういう発言したのか。要するに、議会で取り上げていないということを行っているんです。だからその辺をやっぱり、ここで滝川議員がリニアについて質問しているから答えはというようなことじゃなくて、やっぱりもう一回委員会等で審議してくれみたいな話なんです。

だから、その辺はここに入れておいてもらって、どこかの委員会で。リニアの問題に関して全然議会として話していないじゃないですか。この発言者は、それを言ったんです。

○委員長（五味武彦君） ということは、個人の議員がちょこっとということはないけど、質問してばかりじゃなくて、議会全体でリニアに対しての対策を考えたらどうかという意味。

○委員（有泉庸一郎君） そういうことです。

○委員長（五味武彦君） そういうことなんですね。

そうすれば、滝川議員のところ、赤字になってはいますけれども、「リニアについては、私も議会で代表質問している」というところまでにしておいて、後の「どうのこうのご確認ください」というのはカットして、最後の3ページのところの6番目ですか、まあ、どこか分からないですけれども、そこにリニアに対する、そういう対応をすべきだということを入れたほうが良いということですね。

○委員（有泉庸一郎君） はい、そういうことです。そのほうが参加者の意向には沿っているような気がするんです。

○委員長（五味武彦君） ということは、これは順序的には1番目ですね。

- 委員（有泉庸一郎君）　そうです。
- 委員長（五味武彦君）　順番的には一番上に入れておいたほうが。
- 委員（有泉庸一郎君）　1番でも2番でも。同じ人が言っているんです、1番も2番も。大体。
- 委員長（五味武彦君）　そうなんですか。
- 委員（有泉庸一郎君）　だから、どちらでもいいんです。
- 委員長（五味武彦君）　どちらでもいい。1番でも、2番でも、まあ、順番送るけれども、6項目まで入れたいということでもいいですか。
- 委員（有泉庸一郎君）　そうです。
- 委員長（五味武彦君）　じゃ、それは……
- 〔「文章を決める」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（五味武彦君）　文章を決める。そうすると、有泉委員、どんな文章にしておけばいいですか。
- 委員（有泉庸一郎君）　だから、最初のほうの赤字のほうは今言ってくれたようにやってもらえればそれでいいんだけど、要するに、リニアの問題については今後、議会、委員会等で、議会として議論していくというような文言でいいんじゃないですか。
- 委員長（五味武彦君）　「議論すべき」か。
- 委員（有泉庸一郎君）　そうなんですね。「すべき」というか。
- 委員長（五味武彦君）　それじゃ、有泉委員の意見を反映して、一項目追加して、「リニアの問題については議会として議論すべきである」という文言でよろしいですか。
- 委員（有泉庸一郎君）　そうですね。
- 委員長（五味武彦君）　どこの委員会になるか、ちょっと分からないけれども。
- 委員（有泉庸一郎君）　委員会だけでなく議会として。ここに、最初の、この間の全協のときに報告した、「リニア開業で広がる甲斐市の可能性について議会でも議論していくべきでは」というような文言を入れてもらえれば。
- 委員長（五味武彦君）　じゃ、繰り返します。
- 「甲斐市の可能性」などをちょっと入れて、「リニア問題については甲斐市の可能性など、議会として議論すべきである」ということでよろしいですか。そんな内容で。
- 委員（有泉庸一郎君）　はい。
- 委員長（五味武彦君）　それを一項目つけるという形でいいですか。

滝川議員のところの赤字の2行、これはカットしちやいたと思います。

じゃ、取りあえず、今有泉委員がおりますので、1班のほうは2ページ、3ページは終了させていただきますが、ほかの委員から2ページ、3ページについてございますか。

どうぞ、内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 赤字の削除ということね。この文言を。

○委員長（五味武彦君） 文言を削除。2行です。

○委員（内藤久歳君） 2行を削除して、今のだと「議論すべき」と。

○委員長（五味武彦君） それを最後のこちらのほうに。

○委員（内藤久歳君） それを削除して、滝川議員のを。

○委員長（五味武彦君） 削除して3ページの1から5までであるのに付け加える、そういう意味で。

○委員（内藤久歳君） 滝川議員がしているということは、言ったほうがいいよね。

〔「そうですね。それは書いておいてもらえれば」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ここで、「リニアについては、私も議会で代表質問している」と。

○委員（内藤久歳君） これはこのまま残しておいてもいいんじゃないですか。ホームページ見てもらって別に問題ないし。それで、項目の中へ入れたっていいんじゃない。滝川議員もそういう説明しているんだから。

だから、要するに質問は質問として議会としてもやっていますということだと思っただよよね。その場では、そういう発言しているんだから。

そっちも見てもらったり、また議会でもそのことに関して検討するということは別に削除する必要もないと思うし、と思います。

○委員長（五味武彦君） どうですか、皆さん、そのままでいくというご意見がございました。

別にそれは問題ないと思います。改めて議会として取り上げるべきだということであれば、それは1項目つければいいことですから。

今、内藤委員からご指摘ありました。そういう形で、滝川議員のところのやつはそのままにしておいて、最後に、3ページのほうに一項目、「リニア問題についてのことを考える」という項目を入れるということでもいいですか。

ほかに。

○委員（伊藤 毅君） 今の文言なんですけれども、ちょっと細かいかもしれないんですけれども、リニアは問題ではないので、「リニア開業効果を最大限に生かすために議会も今後検

討が必要である」みたいな感じのほうがよくないですか。

○委員長（五味武彦君） 「リニア開業効果」か。

○委員（伊藤 毅君） そうです。いい方向の問題であって、いい方向だと思いますので。

○委員長（五味武彦君） 「リニア問題」ではなくてね。じゃ、そこは「リニア問題」ではなくて、「リニア開業効果については」ということね。じゃ、それにまた直しておきます。いいですか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） なければ2ページですけれども、2ページの方は傍聴さんがいるけれども、傍聴人、意見はできぬかな。ちょっとここで休憩を取らせていただきます。

休憩 午前10時39分

再開 午前10時47分

○委員長（五味武彦君） 会議を再開いたします。

2ページ、4ページ、それから5ページについては修正をさせていただくということをお願いしたいと思います。

3班の藤原委員がいらっしゃいますので、6ページと7ページの各ページを、松井委員も一緒をお願いしたいと思います。

○委員（藤原正夫君） 遅れてすみません。申し訳ないです。

3班ですけれども、うちの班は見たとおりに、議員の回答というのが清水議員しかないんです。ということは、参加者が10名いて、自己紹介が終わって、1人何分ということの中でぐるぐるやっているうちに大分、参加者の人がかなり意見の幅が広くて、1人が二、三分言っているうちに、その間に議員の意見がないということは、これを見たとおりに回答というのがなかったわけです。

違う班を見るとかなり、3人のところが2人とかあるんですけれども、うちの班は清水議員がお答えしたということで時間が、というか、ぐるぐる回っているうちになかったということがまず第一でございます。

最後のほうに、委員会等の対応で、避難場所と、あとハザードマップの見直し、これは多

分この方たちも強力に、いろんところで避難場所ということが出ましていると思うんですが、そうはいつでも、あと一つ付け加えたいような気もしないでもないんですけども、かなりどこの班も同じ、うちの内容を見てもダブっているところがありますので。あと松井さんにもちょっと意見を聞いてもらって、付け加えるのであれば、今待機待ち児童とか、そういうようなことがすごく、中に2人の意見、この文章には載っていないのですけれども、言われた、私なりに記憶があるのですけれども、そうはいつでも待機場所がどうのこうのというのも別にどうかなと思うんで。

あと緑化センターの問題もかなり、どこの班にも同じ意見があったりしますので、できればもう一つ何か皆さんの、松井委員にも今意見を聞いてもらって、一つぐらいあったほうがいいんじゃないかなと思うのですけれども。参加者の5班までのあれを見ると大体同じような意見が多いと思いますけれども。

そうはいつでも、あと一番は避難所、避難場所ということが何人かから多く言われたということが、うちの班の参加者の質問が多かったのですけれども。

一応そんなわけで、また皆さんの意見を聴いていただければありがたい。できれば、あと一つぐらいを加えてもいいんじゃないかろうかということなのですけれども。

○委員長（五味武彦君） ほかの班がたくさんある部分について……。

○委員（藤原正夫君） そうはいつでも、同じのがダブりますから、いいと思う。そんなところですよ。

○委員長（五味武彦君） 松井委員、どうですか。

○委員（松井 豊君） 今回は市民の声を聞くということに徹したつもりなんで、こちらからはあまり意見は出しませんでしたけれども、確かに避難所のことは一番出ました。それから、あと福祉。福祉と言えば非常に広いんですけども、そういったものを充実させてほしいということは、これもかなり、何人かから出ましたから、その辺を加えるなら加えるかなというところですが。

○委員長（五味武彦君） 福祉関係となると。

○委員（藤原正夫君） これは4つの項目があって、この中から選んでくださいと。

これらを対象に、今日はこの項目から回答していきましよう、たたき台で言っていたのですけれども。

○委員長（五味武彦君） この意見を反映して一項目作るかという話に今なっているのですけれども。

○委員（藤原正夫君） 上から2番目のところに、こんなのも二、三は出たと思います。

高齢者の足とか買物弱者、これから高齢者が免許返納などについて今後どんなふうなことでということも何件かはあったと思います。

○委員長（五味武彦君） じゃ、福祉関係のことで、上から2つ目の段の中の後半ですか、「高齢者の足、買物弱者、免許返納など高齢者の福祉を充実すべきである」というふうな、これを、この場合は厚生か、に入れるかどうかということですね。

○委員（松井 豊君） あと、それと同じくらいのあれで、子育てだとか保育的なことも出ましたんで、まとめて福祉として「高齢者対策と子育て対策を充実してほしい」というようなくくりでどうか。そうすれば、福祉、厚生の方でできますか。

○委員長（五味武彦君） もう一回すみません、高齢者……。

○委員（松井 豊君） 高齢者対策と、それから子育て対策、施策を充実させてほしいと。要するに税金を有効に使ってくれと。だから、税金を有効に使って高齢者施策、それから子育て施策を充実させてほしいと。一くりにすれば、そんな感じかなと思いますけれども。とにかくいろいろ出たんで、ちょっとまとめる訳には。

○委員長（五味武彦君） 高齢者対策でもいろいろあるけれども、それを具体的には書けない部分……。

副委員長、どうぞ。

○委員（伊藤 毅君） すみません、一応（2）に載せるのは、今後、委員会等で対応が必要となる事案ですので、ある程度委員会に、これから委員会に振るんですけれども、もうちょっと具体的に絞っていないと委員会でも検討のしようがないと思うんですけれども。

ここに要望を載せるんじゃなくて、今後、検討することを載せるので、その辺をちょっともう一度お願いします。

○委員長（五味武彦君） 「具体的な対応」という表現のほうがいいということなんです、委員会といたせば。

どうぞ。

○委員（松井 豊君） それであれば、そこに実際に出ている高齢者の足などの対策、それからあと保育所の待機児童の問題、この2点くらい。具体的に言えば、そういう形かなと。出せば切りがないけれども。

○委員長（五味武彦君） どうぞ、内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今の件だけでも、甲斐市では待機児童というのは出ていないです、

実際。それは思いどおりのところにいていないかもしれんけれども、待機児童は一応当局の事実としては、ないということになっているんじゃないですか。そういうことをやることによって、何だあるのかという印象を受けるので、それはやっぱりうたわないほうがいいと思うんです。子育て支援とか高齢者福祉という感じでやっていったほうがいいかなというふうに思います。

それからもう一点、先ほど税金の使い方どうのこうのという意見が出ましたけれども、それは行政全般、それもそこだけに特化するものじゃないから、その税金の使い道をこっちにやれというそのことは、やっぱり表現しないほうがいいような気がします。

○委員長（五味武彦君） 内藤委員の意見も分かりますので、高齢者対策ということで、この2段目にある最後のほう、「高齢者の足、買物弱者、免許返納など高齢者対策が必要ではないか」という形で具体的なもの、項目が入っていますので、それで一項目追加するというところでいかがですか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、あと一項目追加させていただきます。これは上のほうだから、1番目に入れたいと思います。

「高齢者の足、買物弱者、免許返納など今後の高齢者対策が必要、厚生環境常任委員会で検討すべき」という形でよろしいですか。

そういう形です。あまり文章長くてもしょうがない。

どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 言われたように、保育園の待機児童とかそういうのはもうやっているから、あと子育て支援に関することだよ。でも、そういう点について具体的にというのはなかなか。あり過ぎて難しいから、もし入れるのであれば何か文言を、二本立てで、高齢者と子育て支援というか、そういった形の中で何か入れれば厚生のほうで検討してもらおうというようなことになると思うんですけれども、その辺はどうですか。

○委員長（五味武彦君） 子育てで出てきているのは、この中では待機児童どうのこうのという文言しか出てきていないんです。もちろん、そう言ってみれば出てくるかもしれないけれども具体的に出てくるのはそこなので、私の意見とすれば、高齢者対策を1つだけ追加するという形でいかがですか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、6ページ、7ページについては追加という形で修正をさせて

いただきます。

どうぞ。

○委員（藤原正夫君）　じゃ、これをお願いします。よかったです、一つでも加えて。参加者は10人だから。みんな同じようなあれだから、どうこうはないけれども。これで和弘委員にも報告しておきます。どうも。

○委員長（五味武彦君）　担当の班長さんからの話が終わりましたけれども、ほかの委員の方はよろしいですか。

議長、どうぞ。

○議長（清水正二君）　6ページの下から2番目のところの字句の確認なんですけれども、「65歳より介護保険の増額、福祉施設の増室をしたら」とあるんですけれども、これ増室なんです。増設となっているんだけれども。

○委員長（五味武彦君）　増室か増設か。

○議長（清水正二君）　これ、字句からいくと増設のほうが正しいような気がするんですけれども。

○委員長（五味武彦君）　そうか、テープ起こしでは分からない。増室、増設。

○議長（清水正二君）　その人の意味合いには、特定した施設の増室をする、と言うのか。
〔「介護保険の増額というのは、介護保険を上げるということだよ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君）　そうなんだよね。「減額に」は分かるけれども。
〔「これはテープを確認したほうがいい」「テープは「増額」なのか」「減額」じゃないか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君）　ここでは分からない。
〔「後で確認していただいて」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君）　文言が「増室」なのか「増設」なのか。それから「増額」なのか。

○書記（輿石文明君）　これは各班から、班で出てきた文言なので班の方で見てもらって。「増額、」、この意味が通じないんじゃない、それは直していただかないと。
〔「「増額」って言うわけがない。こっちは、やっぱり「増設」だろうね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君）　「増設」だろうね。ただ、「介護保険の増額」というのは、ちょっと意味が分からない。

〔「だから、ここにつきましては払うほうじゃなくて、もらうのを」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 多分そうだと思う。

〔「また確認してみます」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） この文言について確認しておいていただけますか。お願いします。議長いいですか。

○議長（清水正二君） はい。

○委員長（五味武彦君） それでは、9、10ページに入りたいと思います。

これは内藤委員がいらっしゃいますので、まずは内藤委員からご意見をお願いしたいと思っています。

○委員（内藤久歳君） 僕は問題ないです。

○委員長（五味武彦君） 大丈夫ですか。

○委員（内藤久歳君） あとは秋山委員がいます。

○委員長（五味武彦君） 秋山委員、いますね。ないですか。

○委員（秋山照雄君） はい。

○委員長（五味武彦君） どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 私の説明の中で山県大弐のところがあるんだけど、この中身で、幕末の思想家という中身でいいかどうか私も自信がなかったんだけど、一応自分のイメージの中で言ったんだけど、江戸時代の思想家、時代が江戸時代でいいかどうか確認を。大丈夫ですか。

〔「はい、大丈夫です」と呼ぶ者あり〕

○委員（内藤久歳君） 大丈夫。それだけちょっと心配になったんで。じゃ、これで大丈夫だね。了解。

○委員長（五味武彦君） これ松井委員も詳しいから。江戸時代の……

〔「大体幕末の100年前ですから」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） だから、江戸時代で。

〔「だから、吉宗の後」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 大丈夫ですね。

じゃ、それはオーケーということなんで、じゃ、直しはなしということよろしいですか。10ページ、11ページ、12ページになりますと、今ちょっといらっしゃらないので、委員

だけで5班の修正点が何かあれば、考えられるものがあればお伺いしたいと思います。

付け加えますと、山本班長はある程度これを見ているということなんで、もしなければ、このままパスしようというふうに、スルーしようと思っけていますけれども、よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） じゃ、各班の実施報告書については以上で終わりたいというふうに思います。

続きまして、参加者アンケートの結果等々のページに入りたいと思いますが、こちらのほうで何かご指摘あれば。

特に17ページ、18ページ、これはアンケートをそのまま起こしてあります。多少ニュアンスの違いとか、ちょっと判断がつかない文言があるけれども、一応アンケートの結果ということなんで、そのまま載せてあるという形になります。

よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） それでは、以上のように決定をさせていただきます。よろしく願いします。

以上で、「市民と議会の対話集会」実施報告書（案）を終わりたいと思います。

続いて、（2）その他を行います。

私のほうからちょっと一言。

議会だよりにどうやって載せるかということで、今ページを割り当てております。今の予想では、最終から手前の1ページが割けるようになりましたんで、それから最終ページ、要するに1ページの5分の3ぐらいかな、一応ページで割ける用意がございますので、当日の各班の写真、それから、全部は載せ切れません。各班の意見等々を抜粋したものを載せようというふうなつもりです。今から原稿を作りますので、スペースは、今動いていますので何とも言えませんが、そのぐらいのことは一応やって、できれば30日の全協の結果、各委員会に付すべきものとかどうのこうのということまで入れて、発行にこぎ着けようというふうな気持ちではおります。

もちろん、ホームページとかいろんなものを見てくださいというようなことは、文言を入れますけれども、一応1ページと半分を使った中で、あらかたの対話集会の内容等々がかかるような形を取りたいというふうに思っています。

私のほうから報告という形でお願いしたいと思います。

委員から、その他の中でございますか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） さっきのアンケートのところだけれども、14ページの間4で「チラシを見た方は18%にとどまった」という表現がある。「18%でした」でいいんじゃないですか。

「とどまった」というと、もっと、えらく考えていたのに、これだけしかなかったというイメージがあるので、さらっと、「でした」という表現のほうがいいような気がします。

○委員長（五味武彦君） 確かに。

じゃ、14ページ、間4のところ、「チラシを見た方は18%でした」にしておきますか。

よろしいでしょうか。

どうぞ。

○委員（内藤久歳君） これ最後のところで、みんな各常任委員会、あるいは関係の委員会へ振るわけじゃないですか。そうすると、振ってどうしたかということの中まで今後はやるのか。これだと、振りますと、検討しますということになっていて、そこから先はどうなったんだということをどんな形で集約するかという、そこまでやらんと。これ公表するわけじゃないですか。公表した後、その後どうなったんだということにつながっていくわけじゃないですか。だから、それをここで、ここに各常任委員会で検討する事項に関してはどんな形でやるのかという、そこまで示しておかないとあれだと思うんです。

○委員長（五味武彦君） 実際確かに改革とすれば、こういう話がありました、報告いたしますと。あとは全協で開いて、どういうふうに委員会で対応すべきかどうかというのを検討すると思うんです。その結果をどうするかという話ですよね。私どもとすれば、付しましたということが終わっちゃいます。

実は5月に当然委員会構成が変わります。タイミングが。それがずっと続けば、早めにその委員会でもんでくれればいいんだけど。それで、特に4月は委員会はないということなので、新しい委員会の構成の中で検討していただくということしかできないと思うんです。その結果をホームページ、もしくは7月の議会だよりの中で、こういうことで対応することになりましたという報告をせざるを得ないのかなと。タイミング的にすぐに対応できる時期でもないのかなというふうに思うんです。

ただ、格好だけはそういうシステムをつくっておかないといけないのかなというふうに思

いますが、いかがですか。

どうぞ、内藤委員。

○委員（内藤久歳君） その辺のつながりが難しいよね。一応委員会は、この対話集会をまとめて、こういう結果になりました。それから、出された課題については今後どうするかということでもまとめる。そこまで行ければいいんだけど。それは、だから、今後継続審査じゃないけれども、当然継続しなきゃならんですよ、これは。各常任委員会で検討しますということを発信しているから、またやって、こうしました、こうしました、その結果もまた公表しなきゃならんという、そこまでやってようやく終わるという感じですよ。

だから、改革で今までやってきたこと、それから、そのことに関してどういった形で明確にその方針を示していくかということもここの中で何か表現できればいいかなと。そうすると、これを見た人たちが一連の流れの中で、じゃ、ここまでやりました、それから先は、出された課題については、こういう形でまたやりますと、その結果としては、こういう形でまた皆さんに報告しますという一つの一連の流れが来て、そして、そこまで行ってこのあれが出ると思うんですけども。その辺のところをある程度やっておいたほうがいいような気がするんです。

○委員長（五味武彦君） 30日の全協でどういう話が出るか分かりませんし、各委員会にどう付するのかということも具体的にしろと思うんです。

ただ、1ページのこちらのほうにアバウトで書いてありますけれども、「各班の実施報告書に基づき議会及び委員会で対応を要するものは、今後、調査研究等を行い、その結果を公表する予定です」ということで、具体的な日程とか仕組みとかは書いていないのですけれども、一応この文言は入っているんです。

具体的な対応については、全協とか今後の各委員会でどう取り上げるのか。常任委員会ばかりじゃないと思うんです。バイオマスもあり、緑化センターもあり、いろんなところがありますので、それは新しい体制の中でやるのか、事前にやるのか、これは私どもの範疇ではない部分があるんで。

どうぞ。

○委員（内藤久歳君） できればここの中に、委員会、これ特別委員会も絡んでいるから、特別委員会も入れたほうがいいんじゃないですか。緑化センターもあるから。

○書記（輿石文明君） それで、「委員会等」を。

○委員（内藤久歳君） 「等」になっている。

○委員長（五味武彦君） 常任と特別も併せての委員会。

○書記（輿石文明君） 委員会等は全協とかですけれども、「常任委員会、特別委員会」と入れるか、「委員会」と入れるか。「等」だけですけれども。

○委員（内藤久歳君） 今、緑化センターがあるから特別委員会等。特別委員会も入れてやったほうが分かりやすい。「特別委員会等」でやれば。

○委員長（五味武彦君） じゃ、具体的に「常任委員会、特別委員会等」に直してください。そうなんですよね。バイオマスもあるし。

これを完全に議会改革でこれを取り上げろとは言えない。それは各委員会の判断でやっていただくよりほかないんで。

よろしいでしょうか。

また、全協でいろんな話があると思います。全協の後30日、10時から全協がありますけれども、この中で出たものを、まあ、すんなり行けばそのままでもいいんですけれども、多少変更があるということも考えられます。10時からやった後、もう一回議会改革をやらせていただいて、最終的なまとめ、決定というふうなところまで運ばせていただければありがたいと。決定したものを翌日ホームページに載せるという運びになりますので、非常にタイトです。訂正の部分にもよります。あまり時間がかかるというものであれば、若干日にちをずらさなきゃいけないんですけども、一応予定ではここまでこぎ着けたいなということをお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、その後も終了させていただきます。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして議会改革特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前11時15分